SIC カイゼン・スクール
KAIZEN SCHOOL

―トヨタ式カイゼンを導入するために―

利益を生む「稼ぐカイゼン」始めませんか？

カイゼン
KAIZEN SCHOOL

9月3日 開講

スケジュール

まずは受講企業の現場診断からスタート！！	
9月3日（土）	オリエンテーション、カイゼンの全体像
9月17日（土）	講義、グループワーク
9月29日（木）	現場実習（先端的なカイゼンの現場を知る）
10月15日（土）	講義、グループワーク
11月2日（水）	現場実習（カイゼン提案を行う）
11月19日（土）	カイゼン計画書ブラッシュアップ
12月3日（土）	成果発表会

株式会社 さがみはら産業創造センター

カリキュラム詳細

日　程	講義内容	
7月中旬 〜 8月下旬	現場診断	受講企業様の現場をカイゼン・マイスターが訪問し、現場診断とスクール受講の事前ヒアリングを行います。
9月3日(土) 10:00〜17:00	オリエンテーション、カイゼンの全体像	スクール開催のオリエンテーションとカイゼン活動の目的、カイゼンの全体像について学びます。
9月17日(土) 13:00〜17:00	講義・グループワーク①	カイゼンの手法について講義とグループワークを行います。
9月29日(木) 13:00〜17:00	現場実習①	先端的なカイゼン活動を行っている現場を見学します（自動車メーカーを予定）。
10月15日(土) 13:00〜17:00	講義・グループワーク②	カイゼン活動に必要な「標準作業」について講義とグループワークを行います。
11月2日(水) 13:00〜17:00	現場実習②	他社の工場を見学し、それまでに学んだカイゼンの手法によるカイゼン提案を行います（山梨県内企業を予定）。
11月19日(土) 13:00〜17:00	カイゼン計画書ブラッシュアップ	成果発表会で報告するカイゼン計画書のブラッシュアップをグループワーク形式で行います。
12月3日(土) 13:00〜17:00	成果発表会	スクール開講時に設定した自社の現場での課題について、その解決に向けた「カイゼン計画書」をスクール受講の成果として各自で発表してもらいます。

募集要項　★相模原市外の企業様も受講できます★

【会　期】個別現場診断・ヒアリング・・・7月中旬より順次訪問
平成28年9月3日(土)〜12月3日(土)≪7回≫
【場　所】場所：さがみはら産業創造センター SIC-2 大会議室、
サン・エールさがみはら 他
【対象者】製造等の現場リーダー層の方 など
【受講料】お一人 110,000円(税抜) ※現場実習に必要な安全靴は各自ご用意いただきます。
【募集人数】15名(1社から4名までの参加可) ※先着順
【主　催】株式会社さがみはら産業創造センター／株式会社カイゼン・マイスター
【後　援】相模原市
【協　力】横浜銀行　八千代銀行　西武信用金庫
【お問い合わせ】株式会社さがみはら産業創造センター(担当：事業創造部　樽川・片山)
〒252−0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21
Tel 042-770-9119　Fax 042-770-9077　HP http://www.sic-sagamihara.jp/

受講者全員に進呈

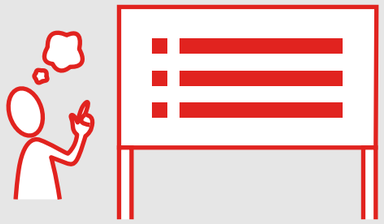
「カイゼン・リーダー養成塾」
小森治 著

経済産業省「ものづくり中核人材育成事業」の受講料補助金については、
上記お問い合わせ先にご連絡ください。

スクールの流れ

1 まずは課題を明確化することから

カイゼン・スクールは、講師による事前の現場診断・ヒアリングによって、自社の課題と解決の方向性を受講生自身で明確化することから始まります。課題を明確にすることにより、スクールに取り組む目的意識も高まります。



2 活きたカイゼンの考え方と手法を学ぶ

講義では、受講生同士の議論・交流を促すグループワークも取り入れながら、経験豊富な講師陣からカイゼン活動の考え方と手法を学び、設定した課題の解決方法を探ります。

また、現場実習では、他社工場のカイゼン活動を活きた教材として、自社ではどのようにカイゼンに取り組んでいくのがよいか、より具体的なヒントが得られます。

3 カイゼン計画の立案・実行へ

自社の経営方針などに基づき、設定した課題の解決に向け、学んだカイゼン手法を取り入れた実施計画書を受講生ごとに策定し、最終回で発表します。そして、スクール修了後は、それぞれの現場でカイゼンに取り組んでいただきます。

これまでの主な業種

電子回路基板製造、センサー製造・販売、伸銅品製造、計測機器製造・販売、金属表面処理加工、化学品製造・販売、音響自動制御機器開発・製造、金属部品加工、文具加工など

講 師　カイゼン・マイスター

本スクールの講師陣は、企業経営、生産管理、生産技術、品質管理、工場管理などのそれぞれの専門分野において、40 年以上の経験と知識を有したトヨタ生産方式のエキスパートで、全国 200 社以上の中小企業の現場改善の実績があります。これまで日刊工業新聞社主催のセミナーを始め、多くのセミナーで好評を博し、スクールの講義や現場実習では、現場で役に立つ実践的な内容を提供します。

株式会社カイゼン・マイスター
代表取締役　小森 治　氏

トヨタ自動車株式会社出身
元セントラル自動車（現トヨタ自動車東日本株式会社）代表取締役社長
法政大学大学院教授・中小企業診断士
専門分野は製造業経営全般
（管理部門 TPS、品質原価管理、財務）

受講企業のカイゼンテーマ例

- 標準化の推進による品質のムラ削減
- 3S の徹底による検査の合理化
- チェックシートの活用による確認もれ防止
- 段取り替え回数の減少による仕掛品削減
- レイアウトの変更による移動時間短縮
- 多能工化の推進による作業時間短縮

受講企業のカイゼン事例

事例 1

課題設定　治具交換時の段取り替え時間の短縮

計画策定　治具のボルト固定部分を改造し、交換部品数の削減と時間短縮を図る計画。

計画実行　目標を上回る時間短縮に成功し、工程全体の作業時間を約 65% 短縮。

スクールでは手法を学んだだけでなく、実際の工場を見学し社員全員参加でカイゼンに取り組む姿を見て、学ぶことができました。

事例 2

課題設定　機器修理に要する期間の短縮

計画策定　作業導線の短縮、仕掛案件の可視化、受付・見積り時の作業改善等を計画。

計画実行　約 5 日間の期間短縮に成功し、サービスの向上にも寄与。

今回の取り組みをきっかけに、今後は会社全体・チーム全体でのカイゼン活動を社内に広めていきたいと思います。

カイゼンの目的とは？

単に手法を覚えるだけでは必ずしも成功には結びつかず、トヨタ生産方式を導入してもうまくカイゼンが進まないといった事例は多数あります。SICカイゼン・スクールは、“会社の永続的な繁栄” に結びつくカイゼン活動を学び、自社に取り入れたいという意欲のある企業様にとって最適なプログラムとなっています。

「カイゼン」の究極の目的は“会社の永続的な繁栄”

心
カイゼンを定着させる心構え
- 現地現物の精神
- 言い訳無用
- 自分で考える人材

技
カイゼンを支える様々な手法
- 見える化
- 自働化
- 多能工化
- 標準化
- その他カイゼン理論・手法

体
カイゼンによるスリムな経営体質
- 適正な在庫管理
- 知恵を凝らした生産設備
- 利益を生み出せる現場

持続的なカイゼン活動のためには「心・技・体」の充実がなければなりません